

## えぐちーず

(部内資料)

連絡先 日本共産党区議団控室 世田谷区世田谷 4-21-27 区役所第2庁舎内

Tel 5432-2791 fax 3412-7480 メール eguchi@jcp-setagaya.jp

ブログ <http://e51d41egc.blog137.fc2.com>

ホームページ <http://egucheese.net/link>

2015年7月7日

### 第2回区議会定例会報告 「戦争立法」反対の意見書を 超党派で区議会に提案

6月24日の世田谷区議会本会議で、共産、民主、社民、生ネ、F行革、虹の超党派の共同で『安全保障関連法案』の廃案を求める意見書を提案しました。

江口区議が、賛成討論に立ちました。  
(裏面要旨掲載)

なお、意見書は自民・公明などの反対で否決されました。各会派の賛否の一覧は下表をご参照ください。

### 戦争立法反対！ 「憲法カフェ」を おこないました

6月27日(土)に、「ママ・パパたちの憲法カフェ」を行いました。

千歳船橋駅で宣伝していたとき配ったビラを受け取ってくださった方、また私と友人のそれぞれのママ・パパ友とその子どもたちで、大人7名、子ども4名集まり、賑やかに行いました。

岸まつえ弁護士から戦争立法についての講義を受け、その後討論。

「国会包囲行動に行ったとき、主催者から次に来るときは皆が誰か一人を誘ってくれば、それだけ輪が広がる、と言われた。どうすればもっと広げられるか。」等感想が出されました。

委員会	議案番号	件名	自民	公明	民主社	共産	F行革	希望	無減速	生ネ	虹	SPJ	世田谷	採決
	議員提出議案第5号 (追加日程第1)	「安全保障関連法案」の廃案を求める意見書	×	×	○	○	○	×	×	○	○	○	○	起立採決

●世田谷区議会の各会派の名称と人数

自由民主党世田谷区議団(自民)16人、公明党世田谷区議団(公明)10人、世田谷民主党・社民党区議団(民主社)5人、日本共産党世田谷区議団(共産)5人、無所属・世田谷行革110番・維新(F行革)4人、せたがや希望の会(希望)3人(小泉たま子、佐藤美紀、阿久津豊)、無所属・減税せたがや無所属連合(無減速)2人(あべカ也、青空こうじ)、生活者ネットワーク世田谷区議団(生ネ)2人(高岡じゅん子、田中みち子)、レインボ一世田谷(虹)1人(上川あや)、せたがやすこやかプロジェクト(SPJ)1人(すがやすこ)、世田谷無所属(世田谷)1人(ひうち優子)



↑当日の様子

6月24日の世田谷区議会本会議で、共産、民主、社民、生ネ、F行革、虹の超党派の共同で「『安全保障関連法案』の廃案を求める意見書」を提案しました。

江口区議の賛成討論要旨は、以下のとおりです。

### 意見書に対する日本共産党の賛成意見（討論）

日本共産党世田谷区議団を代表して、議員提出議案第5号「『安全保障関連法案』の廃案を求める意見書」に対し、賛成の立場から討論に参加します。

この間の国会質疑を通じて、法案の3つの問題点が明らかになってきました。

第1は、米国が世界のどこであれ戦争に乗り出したさい、自衛隊を戦闘地域、つまり戦地にまで派兵し、武器・弾薬や兵員の輸送など「後方支援」を行えるようにするという問題です。

一般に「後方支援」といいますが、これは日本独特の造語で、国際的には「兵たん」（ロジスティクス）と呼ばれ、武力行使の一部とされています。自衛隊員が“殺し、殺される”危険が決定的に高まることとなります。

第2は、「停戦合意」はあるものの、なお戦乱が継続しているところにも自衛隊を派兵し、治安維持活動等をさせようとしている問題です。アフガニスタン報復戦争では、こうした活動で、NATO軍に3千5百人もの戦死者が出ています。それを今後は、自衛隊に肩代わりをさせようというのです。自衛隊が他国の民衆を殺傷する危険も極めて大きくなります。

第3は、日本が攻撃を受けていないのに、集団的自衛権の行使を可能にしようとしている問題です。集団的自衛権とは日本を守るためのものではありません。日本が攻撃されていないのに、他国が起こす戦争に武力行使をもって参加することです。憲法違反は明白であり、一内閣の勝手な憲法解釈変更で認めるなど許されません。しかも、行使の判断は、時の政権まかせです。首相は国会で「違法な武力行使を行う国への支援は行わない」と答弁しています。しかし、日本は過去1度も米国による戦争に反対をしていません。米国が無法な侵略戦争を引き起こしたとき、言われるままに無法な戦争に参戦する危険があります。

国会の衆議院憲法審査会の参考人招致で、与党推薦を含む3人すべての憲法学者が「安保法制は憲法違反」と表明しました。

最近の世論調査では、戦争法案の反対世論が大きくなっています。

区民のなかでも憲法違反の「戦争法案反対」の声が日増しに大きくなっています。日本共産党は連日区内の駅や街頭で反対の署名・宣伝活動を行っています。

子育て世代からは「ニュースを見ると、自分の子供が将来戦争に送られるのではないかと本当に不安になる。」「戦争は嫌です。子どもたちのために頑張ってください。」等の声が聞かれます。私は多くの子育て世代の「子どもを守りたい!」「戦争反対!」という強い思いを実感しています。世代を超えた多くの区民の反対の声の広がりを実感します。

NHKの調査では、全国の地方議会で「戦争法案」に対し、「反対」や「慎重審議」などを求める意見書を可決した地方議会が234議会に達したことが明らかになりました。

日本共産党は、党派や思想・信条の違いを超え、今国会での戦争法案成立反対の一点での共闘を呼び掛けます。同僚議員の皆さん、ぜひこの意見書に賛成し、世田谷区議会から戦争反対の声を上げていこうではありませんか。以上、賛成討論といたします。